

平成29年度 学力向上推進プラン 3年

		学年の目標	2学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を8割以上)を目指します。そのために、小テストを週1回程度定行い、間違えは必ず直す習慣を付けさせます。</li> <li>国語辞典を正しく引く力や習慣を付けます。そのために、必要なときにすぐ辞書を手に取れるような環境をつくります。国語科での意味調べ、他の教科の調べる学習や日常生活にも辞書を引くよう声掛けをします。</li> <li>相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係に注意して文章を書く能力を付けさせます。そのために、児童の実態に応じた書き方を教え、視写する時間を設けます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の小テストを定期的に行い、間違い直しを徹底し、50問テストでは、練習期間も設けたが、90点以上は7割ほどにとどまってしまいました。毎日の練習に力を入れていきます。</li> <li>国語の時間に意味調べの時間を取り入れることで、事典を引く時間が早くなりました。</li> <li>視写の時間がなかなか取れなかったので今後時間をとるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回小テストを行うことで漢字練習の意識が高まり、80点以上の児童が7割以上になりました。50問テストは、90点以上は7割ほどにとどまりました。</li> <li>視写の時間は取れなかったですが、調べたことを発表する学習では、お手本をもとに順番や段落のつながりに気を付けて書くことができました。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算の定着(単元末テストで90点以上を8割以上)を目指します。そのために、計算ドリルを朝の時間・家庭学習で繰り返し行います。家庭学習週間や放課後補習教室などで東京ベシックドリルを使い、習熟を図ります。支援が必要な児童には、放課後補習教室や個別指導を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストは90点以上は5割ほどにとどまりました。今後、授業の中でも、十分練習問題を行い、家庭学習をより充実させたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の考えを聞くことで、自分の考えを書ける児童が増えてきました。しかし、「考え方」に課題を感じている児童が半数以上います。計算ドリル・家庭学習を十分行い、習熟させたいと思います。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマ字の定着を図ります。そのために、総合的な学習の時間にローマ字のタイピングに取り組んだり、家庭学習などを活用したり、ローマ字を読み書きする機会を増やします。</li> <li>読書量を増やします。そのために、朝読書の時間、給食時間などを活用し、本に親しむようにさせます。教科に関連した本を紹介したり、マイブックでいつでも本を読めるようにしたり、読書環境を整えます。読書貯金箱(読書カード)に記録し、年間で5000ページの目標を与え、随時振り返りをし到達度を確認します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマ字の練習プリントなどでローマ字に触れる機会を取り入れ、興味をもって取り組んでいます。</li> <li>マイブックは100%持っており、読書に進んで取り組んでいます。</li> <li>現在、平均して、約2000ページ読んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間にローマ字のタイピングに取り組んだり、ローマ字のプリントに取り組んだりして、身につけてきました。</li> <li>朝読書、昼読書、自習時間などを活用し、集中して読む習慣がついています。読書貯金箱(読書カード)に記録し、年間で5000ページの目標をもち、意欲的に取り組むことができました。</li> </ul>
思考力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題解決をする児童を目指します。そのために、授業のはじめにめあてを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにします。課題解決の流れが分かるようにノート指導を行います。授業のおわりには、児童が、自分の言葉でまとめられることを目指します。</li> <li>自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、考える時間を十分確保したり、小グループで話し合い活動を行ったりします。話し合いの仕方を指導したり、ハンドサインを用いたり、友達の意見を受けながら考えを発表している児童を賞賛したり、学び合う力が身に付くようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のめあてをしめし、課題を的確に理解し、めあてに向かって学習に取り組んでいます。</li> <li>伝え合う時間を取ることで、5割の児童が自分の考えを自信を持って発表できるようになってきています。うまく伝えられない児童には、友達の発言の仕方の良いところを示すなどして広げていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のめあてをしめし、課題を的確に理解し、めあてに向かって学習に取り組めました。</li> <li>児童が自分の考えを自信をもって発表できるように伝え合う時間を取りましたが、なかなか話し合いができませんでした。うまく伝えられない児童には、友達の発言の仕方の良いところを示したり、選択肢を用意するなどして自分の考えを表現できるように指導しました。</li> </ul>	
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の時間を、毎日45分間(15分×3年生)取り組むことを目指します。そのために、児童の実態に応じて自主学習を推奨したり、模範となる児童の取り組みを紹介し、参考できるようにします。</li> <li>家庭学習の提出率を毎日95%以上目指します。そのために、未提出児童には声掛けをおこなったり、児童の実態に応じて休み時間や放課後に指導したりします。</li> <li>話す・聴く態度を意識できるようにします。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手を見てだまって最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習週間では、目標の45分間は8割ほどの児童が取り組みました。</li> <li>宿題は、毎日9割提出しています。</li> <li>8割の児童が話す聞く態度が意識できています。国語の授業を使い、話し方・聞き方を適宜指導しながら、できている児童を褒め価値付けしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習週間では、目標の45分間は8割ほどの児童が取り組むことができ、自主学習もいろいろ工夫できるようになりました。</li> <li>宿題は、毎日9割提出しています。出せない児童は、大体決まっています。</li> <li>8割の児童が話す聞く態度が意識できています。話し方・聞き方を適宜指導しながら、できている児童を褒め価値付けしています。</li> </ul>	

